



会報『すえひろ』49号  
(平成26年12月号)  
10万人の

選 択

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員  
都市・市民生活常任委員会委員長  
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。  
鎌ヶ谷市道野辺本町1-1 1-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

今月号の項目

一、十二月定例議会

議案十九件全て可決  
陳情十件、三件採択、他は不採択

二、十二月議会一般質問

- ①各種団体への補助金見直し
- ②産業振興に国の補助金活用
- ③緊急避難・指示発令時の対応

三、自然遺産

分水嶺(界)をご存知ですか。  
市内にある貴重資産

四、「脳トレいきいきサロン」

サポーター募集中

五、乳幼児の子育ての大切さ

六、第七回グランドゴルフ大会

一月三〇日 開催

七、十二年間の政治活動の成果

八、原八郎のルーツ「歩」三十五回  
(幻の魚「おしよろこま」の味)

市政報告会のお知らせ

一月三十一日(土) 十時  
中央公民館三階 学習室六  
(三ー力堂の上 三階左側)

衆議院議員白須賀貴樹氏の国政報告  
どなたでも参加歓迎します。  
後援会会員募集  
応援スタッフ募集 連絡請う。

一、十二月定例議会

鎌ヶ谷市景観条例他、補正予算を含め全  
て可決。

二、十二月議会一般質問

①各種団体への補助金見直し

平成一八年の財政危機を乗り切るため、  
組織改革と同時に各種団体への補助金を二  
割削減をし、苦しい運営を余儀なくさせて  
きました。現在、財政に余裕が出てきまし  
て、各種調整基金残高も六十五億円になり  
ました。当時と事情が異なる今、カットし  
た補助金の見直しをしてみる必要があるの  
ではないか。

②産業振興策に国の補助金活用を

研究開発・技術開発に国からの補助金が  
多額に用意されています。市内企業に情報  
を提供し、活用を促し、新技術・新商品を  
開発し、産業振興に役立てるべきと提案。

③緊急避難・指示発令時の対応

台風一八号、一九号による被害が出まし  
た。被災者にはお見舞い申し上げます。避  
難勧告・指示が発令されましたが、避難対  
象者百二十五世帯、二百四十九名の内、実  
際に避難した人は二十二世帯四十六人とし  
た。

高齢者や障がいのある方は強風や大雨の  
中、一人で避難することは困難であり、危  
険です。支援者が決められています。その  
人も避難対象者という事もあります。被  
害を予測し、早めの避難体制を整えるべき  
です。誰が避難支援者であるのかを知って  
いたら安心できます。支援者もまた避難対  
象者になり得ることを考慮すべきと指摘。

三、自然遺産、分水嶺(界)

市内にある分水嶺をご存知ですか。中央  
消防署の近く、右京塚と富岡の間の交差点  
です。手賀沼と印旛沼と江戸川の三方向に  
降った雨が分かれて流れてゆく地点です。

二方向に投げられてゆく分水嶺は各地にあり  
ますが、丘陵地で三方向に流れることは大変  
珍しいことなのです。記念碑を市民の皆様  
のご寄附を仰ぎ、「まなびいプラザ」玄関前に、  
「分水嶺モニュメント」を昨年設置しました。  
一度訪れて見ては、いかがでしょうか。

四、「脳トレいきいきサロン」  
サポーター募集中

認知症予防教室で、簡単な読み・書き・計  
算のお手伝いをしてくれる方を募集していま  
す。全国平均六十五歳以上の高齢者の一五%  
は認知症ですが、鎌ヶ谷市は六%です。日本  
で一番少ないのではないのでしょうか。

私が十一年前に学習療法を知り、鎌ヶ谷に  
導入いたしました。認知症患者の少ない街を  
目指そうとボランティアの方々をお願いし、  
開設して十年になります。受講者が増えて、  
サポーターが不足しています。お手伝いして頂  
けませんでしょうか。  
連絡先 四四三・二五一七 小林

五、乳幼児の子育ての大切さ

脳細胞は三歳までに八割は成長してしま  
います。三歳までしか発達しない脳細胞があり  
ます。「眼窩前頭皮質」です。愛情が不足し  
ますと未発達のままの大人になります。「三  
つ子の魂百まで」です。赤ちゃんと愛情を掛  
けましょう。

六、第七回グランドゴルフ大会開催

一月三十日(金) 九時半より  
市制記念公園野球場で開催、  
定員 先着六〇名、参加費 五百円  
一月十三日より受付 小雨決行  
四四五・三四六六 原八郎まで

七、十二年間の政治活動の成果

市議会議員に皆様の御支援で当選させて頂  
きまして十二年目になりました。これまでの  
政治活動を振り返りまして、これから何をす  
べきかを考えてみたいと思います。これまで  
取り組み、手がけてきて、実現いたしました  
ことを順不同で掲載させていただきます。

鎌ヶ谷市議会議員  
都市・市民生活常任委員会委員長  
会派 政友会



原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。  
鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

十二年間の政治活動の成果

① 予防医療・予防介護の施策

食生活改善・軽スポーツの普及推進、医療費・介護費の抑制に努力、貢献。

② 認知症予防 学習療法導入

「脳トレいきいきサロン」開設一〇周年。六十五歳以上の高齢者の認知症の人数、全国平均一五%に対して、鎌ヶ谷市の人数は六%です。全国に誇れる数です。予防事業の効果が顕著です。

③ 乳幼児の子育ての大切さ

「眼窩前頭皮質」成長の重要性を啓蒙。乳幼児は愛情を十分に傾けて育てるべきです。誕生時の赤ちゃんの脳細胞は平均三五〇gで、三歳までに一二〇〇gまで成長します。最大二〇歳頃で一五〇〇gです。乳幼児期に脳細胞の大部分が発達してしまいます。三歳くらいまでにはしか発達しない大切な脳細胞があります。「眼窩前頭皮質」です。大脳や小脳で感じたり考えたことを総合的に判断をする前頭葉に情報を送るジョイントの役をするのが眼窩前頭皮質なのです。ここが未発達ですと、正しい判断や行動が出来ず、感情のコントロールや、行動の結果を判断できず、俗にいう「切れる」ことになり、事件を起こし、問題児となってしまう。乳幼児期の愛情や、スキンシップ、つまり、「添い寝・おんぶ・だっこ・おっぱい」が大切なのです。「三つ子の魂百まで」と言われるものです。

④ 船取線の歩道、改良整備

歩道の真ん中の電柱を移動等。車椅子が通れない歩道を改善等。

⑤ スポーツ施設の増設や整備

テニスコートの増設、グランドゴルフ用広場の開設・整備

⑥ 市民ポストの設置

市への返送用の手紙を（高齢者健康調査票、市民アンケート等）公民館や市役所に設置した市民ポストに投函すると、切手代の節約になる。

⑦ ジェネリック医薬品の普及

病院や薬局で申し出ることにより、ジェネリック医薬品に代えることが出来る。医療費の削減と自己負担軽減にもなる。普及に努力。

⑧ 分水嶺（界）モニュメント作成

まなびいプラザ、玄関前に設置。市民に作成費用をご寄附頂き、石組みのモニュメントを作成。市に寄附。降った雨が三方向に流れて行く地点が鎌ヶ谷市にある。珍しい地理的遺産です。手賀沼・印旛沼・江戸川の三方向。二方向は全国に沢山ある。

⑨ 職員の地域手当の削減

平成十八年の財政危機で私を取り組んだ財政改革の一つです。給与と別に支給されていた地域手当を一〇%から七%に二段階に分けて三%削減。十九年度九%、県指定の七%に二十一年度下げました。年間合計、一億二千万円の人件費を削減できていることになりました。公務員の地域手当とは、どんなものかご存知でしょうか。給与の他に支給されている特異な手当です。昔は調整手当と言われたものです。民間企業との賃金格差を解消し、善き人材を集める目的で捻り出したものです。今は逆転し公務員の方が高くなり、調整手当の名前が使えなくなり、地域手当と名前を変え、今も存続しているものです。地域により国や県の指定があり、鎌ヶ谷市は国の指定では六%です。財政改革に貢献。

⑩ 教材等購入、入札制度見直し

特定商品を一括入札していたため、代理店契約商品が含まれると、競争にならず、特定業者が一括納品になっていた。特定商品は随意契約として切り離すことにより、自由に入札に参加できる制度に変えた。

⑪ 委員会、審議会の委員の兼任の数を制限

たくさんの市民が参加できるように、兼任数を最高五つまでに削減した。一人で十一兼任した人もいた。

⑫ 学校給食費の未払い、七割解消

簡易裁判の活用を提案。実績上げる。

「歩み」原八郎のルーツ 第三十五回 幻の魚「おしよこまの美味」

昭和四十一年、層雲峡でレンタサイクルを起業して大成功。七月一日より九月二十日までの短い期間の営業。まだ早稲田大学四年生授業にはあまり出ませんでした。東京に帰り大学生に戻った。八〇日間だけの営業でしたが、大企業の部長クラスの収入であった。

二年目に大沼公園と十和田湖の奥入瀬渓谷に支店を出す。冬には九州、日南海岸と天草五橋に出店。九州は冬も暖かいものと思いつみ、見事失敗。九州は南でなく、西にあり、冬は寒い。市場調査を怠った結果です。大沼公園、十和田湖は三年ほどで地元の人に譲り撤退した。層雲峡は絶好調で、自転車を一〇台（収納限度いっぱい）まで増やしても最盛期には足りず、長い時間、待つてもらい、利用してもらった日が続く。

秋に、国立公園レインジャーから頂いた幻の魚、「おしよこま」をスポークに刺して焼いて食べた味が絶品でした。アルバイトの青年と二人で、五〇匹ほどを食べてしまいました。

大雪山の山奥に生息する、イワナの仲間だと思えます。二〇から三〇cmくらいの魚です。調査に山奥に入ったついでに取ってきたことでした。もう一度食してみたいものです。他にも、アイヌねぎや、たもぎ草の味も絶品忘れられません。山の恵みをいただいた、層雲峡の思い出です。

(次号に続く)